

益田市高津川かわまちづくり利活用・維持管理 推進協議会(仮称) 立ち上げ式

令和6年1月25日(木)

中国地方整備局 浜田河川国道事務所

かわまちづくり支援制度について 1/7

1. 「かわまちづくり支援制度」の概要

国土交通省ウェブサイトより



かわまちづくり支援制度 KAWAMACHIZUKURI APPROACH

●「かわまちづくり」支援制度実施要項 より

第1 目的

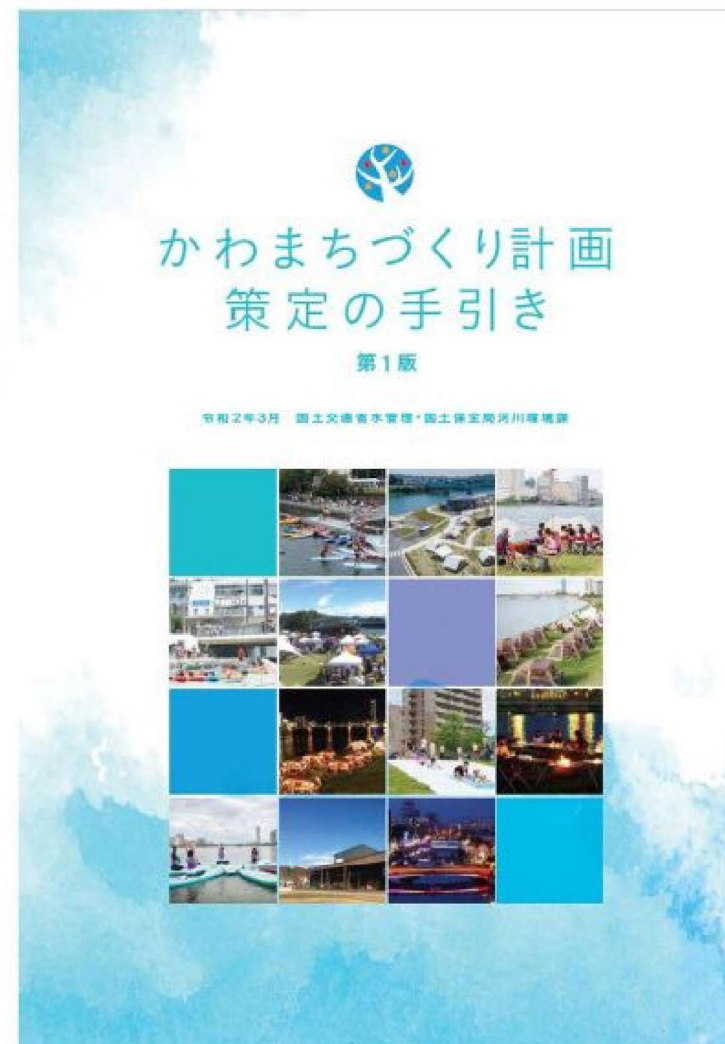
この要綱は、河口から水源地まで様々な姿を見せる河川とそれに繋がるまちを活性化するため、地域の景観、歴史、文化及び観光基盤などの「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、市町村、民間事業者及び地元住民と河川管理者の連携の下、実現性の高い水辺の整備・利用に係る取組みを定める「かわまちづくり計画」の作成及び「かわまちづくり」支援制度（以下「支援制度」という。）への登録等に係る事項を規定し、河川管理者が「かわまちづくり」の取組みを支援し、河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指すことを目的とする。

第4 推進主体（抜粋）

1. 市町村

第5 登録要件（抜粋）

4. 推進主体が河川空間と一体となったまちづくりを行うために自らが整備を計画し、良好な河川空間形成のための諸活動を行っている等、推進主体の熱意が特に高く、河川空間を整備し、その利活用を図る必要がある河川



1. 「かわまちづくり支援制度」の概要

かわまちづくり支援制度とは、地域の推進主体が、水辺を活かして地域の賑わい創出を目指す「かわまちづくり」の取組を河川管理者が支援する制度です。

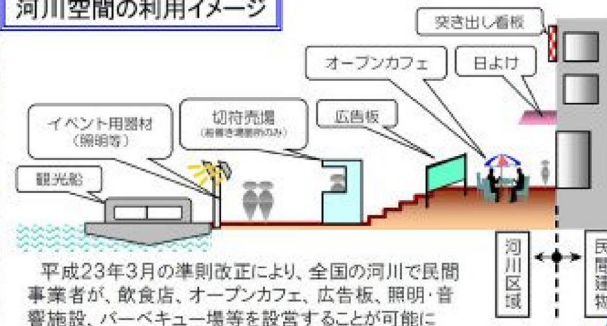
ソフト施策による支援

- ・河川管理者として、必要な調査や情報提供等により、計画の実現を支援
- ・民間事業者等によるオープンカフェ等への河川空間の解放の促進
(河川敷地占用許可準則:都市及び地域の再生等のために利用する施設に係る占用の特例)

河川敷地占用許可準則の適用事例



河川空間の利用イメージ



推進主体は「かわまちづくり計画」を河川管理者と共同で作成し、河川管理者は支援制度に登録された当該計画に基づき、必要なソフト施策・ハード施策の支援を行います。

河川管理者が、総合水系環境整備事業で水辺整備するには「かわまちづくり計画」が必要になります。

ハード施策による支援



治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備を通じ、まちづくりと一体となった水辺整備を支援

(河川管理用通路や親水護岸整備等)

1. 「かわまちづくり支援制度」の概要

◆ 広島のかわまちづくり(水辺のオープンカフェが全国初の「かわまち大賞」受賞

○広島市では、平成15年1月に策定した「水の都ひろしま」構想を拠り所とし、市民、事業者及び行政の協働のもと、水辺等における新たな都市の楽しみ方を創出。

○代表的な取組である「水辺のオープンカフェ」は、河川区域に民間事業者による常設店舗を設置した日本初の取組であり、出店者から預かる事業協賛金をカフェ周辺の環境整備に活用することで、更なる誘客を図るとともに、地域の景観向上に還元している点などが評価され、平成30年度に「かわまち大賞」を受賞。

かわまち大賞 2018

KAWAMACHI AWARD

**平成30年(2018年)
創設制度**

水辺のオープンカフェ

天満川・旧太田川(本川)・元安川地区及び京橋川・猿猴川地区かわまちづくり
(広島県広島市、太田川水系元安川・京橋川)



取組内容

✓ **日本初の河川区域での常設オープンカフェ**

河川区域における民間事業者による常設のオープンカフェとしては京橋川が日本で初めてであり、約15年の実績がある。

✓ **収益を周辺環境整備に活用する仕組みを構築**

出店者から預かる事業協賛金をカフェ周辺の環境整備に活用し、カフェへの誘客を図るとともに地域の景観向上に還元している。

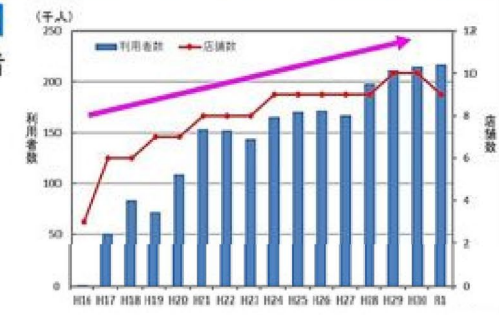
【受賞後の取組概要】

平成30年12月20日 国土交通大臣より広島市長に認定証の授与
 平成31年 3月 「水の都ひろしま」推進計画の改定
 令和元年 5月18日 かわまち大賞受賞記念及び水辺の魅力発信を目的に「水辺のコンサート」開催
 令和元年12月13日 かわまち大賞受賞記念シンポジウムの開催



【受賞後の効果】

オープンカフェ利用者は年々増加傾向。



「益田市高津川かわまちづくり計画」登録伝達式が行われました。（島根県益田市）

- 水辺を活かした地域活性化を支援する「かわまちづくり」について、令和4年8月9日付で新たに「益田市高津川かわまちづくり計画」が登録。（中国地方整備局管内で16箇所目）
- 令和4年8月30日（火）国土交通省中国地方整備局 新宅河川部長から山本益田市長に対し、「益田市高津川かわまちづくり計画」登録証を手交。
- 「益田市高津川かわまちづくり計画」では、「自転車における健康増進」と「拠点における賑わい創出」を目標に掲げ高津川を周遊できる新たなサイクリングコースの整備や、高津川の豊かな自然環境を活かした新たな取り組みを可能とする拠点整備を行うことで、地域活性化を図る。

伝達式の概要

日時：令和4年8月30日（火）15:00～15:30
場所：益田市役所 3階 大会議室



山本益田市長へ登録証の手交



新宅 国土交通省 中国地方整備局 河川部長
林 益田市高津川かわまちづくり協議会委員
山本 益田市長
田原 益田市高津川かわまちづくり協議会委員
前田 国土交通省 浜田河川国道事務所 事務所長

「益田市高津川かわまちづくり計画」の概要

位置図



挨拶

新宅幸夫 河川部長

・本計画の登録は、実施主体である益田市及び地域住民の「かわまちづくり」実現に向けた熱意の高さなどが認められたものであります。

・地域の皆さんの活動がより活発になり、更なる賑わい創出、地域活性化に繋がる環境整備となるよう支援して参りたい。



山本浩章 益田市長

・市としても地域住民と一体となって、安心・安全な水辺利用としての高津地区及び豊田地区両拠点の利活用、そして自転車を中心としたにぎわいの創出として、サイクリングロードを活用した市民をはじめ、県内外からのサイクリストや観光客等の誘客にも取り組んでいきたいと考えている。



※今後、工事実施のための詳細な設計等を実施することにより、実施内容を変更する場合があります。



2. 益田市高津川かわまちづくり協議会

令和2年度に、地元住民、NPO法人、益田市、高津川の河川管理者である国土交通省等から構成した「高津川かわまちづくり検討会」を設立。令和2、3年度に協議会を7回、社会実験を2回経て益田市高津川かわまちづくり計画を検討。

＜実施状況(R2年度)＞

	日時	内容
第1回協議会	R2年7月28日	・益田市のかわまちづくりのイメージについて ・高津川河川管理用通路等の利活用によるサイクリングコースの環境整備について
社会実験	R2年8月30日	・豊田公民館親子川流れ
第2回協議会 現地視察会	R2年9月30日	・サイクリングルートの現地視察 ・整備候補地の現地視察
第3回協議会	R2年10月23日	・高津川沿川の資源について ・拠点候補地について
第4回協議会	R2年12月22日	・社会実験の報告 ・拠点候補地のイメージについて ・サイクリングロードの整備案について



協議会



「親子川流れ」



現地視察「サイクリングルート」

＜委員構成＞

- ① 住民団体
 - ・地域自治組織または連合自治会（吉田地区、高津地区、中西地区、西益田地区）
 - ・町おこし、自転車愛好家団体（NPO法人益田市・町おこしの会、益田サイクリングサークル）
- ② 関係機関
 - ・公民館（吉田公民館、高津公民館、中西公民館、豊田公民館）
- ③ 河川管理者
 - ・国土交通省中国地方整備局浜田河川国道事務所
- ④ 事務局
 - ・益田市（産業経済部観光交流課、建設部都市整備課、等）



益田市高津川かわまちづくり
伝達式(R4.8.30)

＜実施状況(R3年度)＞

	日時	内容
第5回協議会	R3年7月14日	・整備計画(案)について ・利活用計画について ・整備・維持管理の役割分担について
社会実験 (WEBアンケート調査)	R3年9月24日 ～10月4日	・かわまちづくり事業の周知及び現在の河川の利用状況の把握
第6回協議会	R3年11月22日	・益田市高津川かわまちづくり計画書(素案)について ・社会実験(WEB案アンケート)について
第7回協議会	R4年2月14日	・益田市高津川かわまちづくり計画書(案)について ・益田市高津川かわまちづくり申請書(案)について ・協議会の総括

かわまちづくり協議会で検討した内容をもとに「益田市高津川かわまちづくり計画書」を作成・申請し、令和4年8月かわまちづくり支援制度に登録認定された。

＜実施状況(R4年度)＞

	日時	内容
社会実験	R4年9月24日	・かわまちづくり事業の周知及び、利活用メニューに関するアンケート調査

地域の意識・期待

- 清流高津川の周辺は地域固有の資源があり、サイクリングや船などを使ったイベント・神事等の利活用がされ、団体や自治体のにぎわいづくりの取り組みも多く行われている。
- 高津川と流域の資源を活用による、「安全・快適な水辺利用」と「自転車を中心としたにぎわい」の創出により、地域の活性化が期待されている。

地域連携

- 取り組みにより、以下の地域連携が期待される。
 - 〇 住民：日常的、地域イベント時の利活用、維持管理（日常の清掃や草刈り、地域のイベント前の清掃や草刈り）
 - 〇 団体：定期的なイベント開催、イベント時の維持管理
 - 〇 民間事業者：イベントの協賛、サイクリストサポート企業としてのサイクルステーションの提供

益田市高津川かわまちづくり計画 概要

事業概要

【政策目標】^{ますだし}「益田市自転車活用推進計画」に基づく新たなサイクリングコースの設定やレクリエーション等に活用できる水辺拠点の創出により、賑わい創出を図る。
【達成目標】①新たなサイクリングコースなどを活用し、市民向けサイクルイベントの参加人数を約1.7倍にする。(現状 約400人/年 → 目標(R9) 約700人/年)
②水辺空間を利用した新たな取組により、イベント来訪者数を約2倍にする。(現状 約4,200人/年 → 目標(R9) 約8,400人/年)

施設整備メニュー

1. 管理用通路(国)

サイクリングや高水敷利用等ができるように管理用通路(スロープを含む通路)を整備する。

2. 高水敷整正、親水護岸等(国)

水辺空間を活用したレクリエーションやイベントが可能な多目的利用の場として、高水敷や傾斜の緩やかな親水護岸等を整備する。

3. サイン・案内板(益田市)

サイクリングコースのサイン(路面標示等)や水辺拠点の利用案内板を整備する。

4. 張芝(益田市)

快適に高水敷利用ができるように芝を張る。

5. 利用施設(益田市)

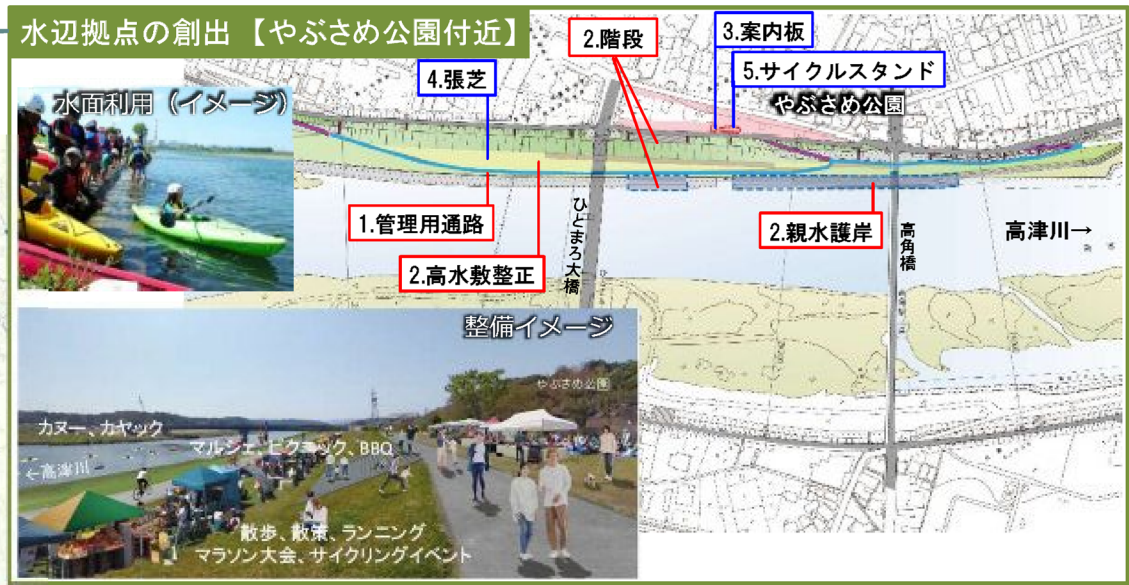
サイクリストが休憩時に利用するサイクルスタンドを設置。
水辺利用者が利用しやすいよう既存トイレを改修する。

新規サイクリングコース



整備箇所
水辺の拠点整備
新規サイクリングコース整備
【既存サイクリングコース】
高津川沿道サイクリングコース
LGSERのサイクリングコース
中津川沿道サイクリングコース

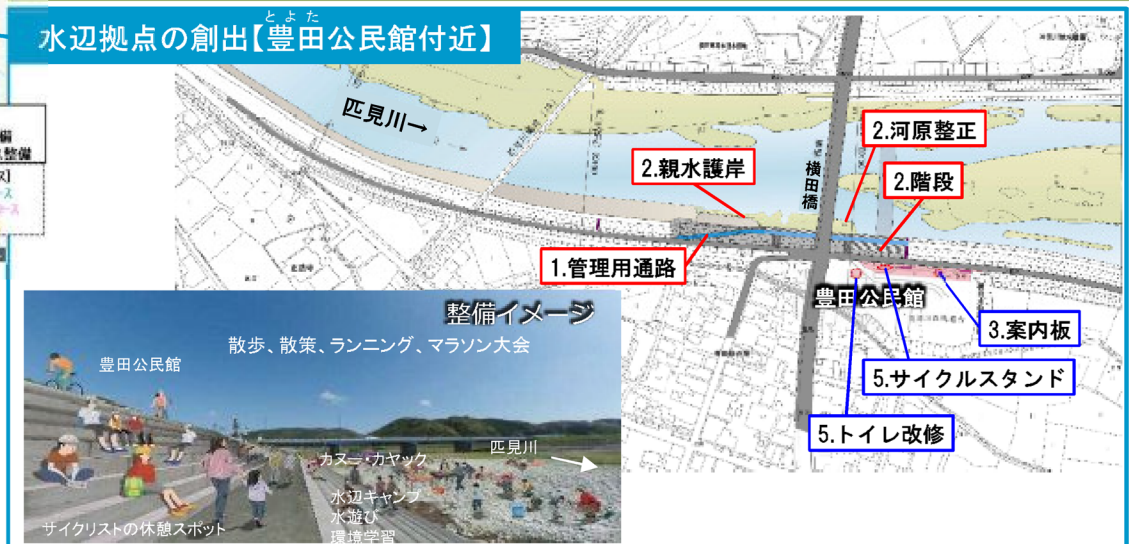
水辺拠点の創出【やぶさめ公園付近】



水面利用(イメージ)
1.管理用通路
2.高水敷整正
2.階段
3.案内板
5.サイクルスタンド
やぶさめ公園
高津川→
高角橋
ひこまる大橋
2.親水護岸

整備イメージ
カヌー、カヤック
マルシェ、ピクニック、BBQ
散歩、散策、ランニング
マラソン大会、サイクリングイベント

水辺拠点の創出【豊田公民館付近】



2.河原整正
2.階段
2.親水護岸
1.管理用通路
豊田公民館
3.案内板
5.サイクルスタンド
5.トイレ改修
豊田公民館
散歩、散策、ランニング、マラソン大会
カヌー、カヤック
水辺キャンプ
水遊び
環境学習
サイクリストの休憩スポット
匹見川→

整備イメージ
サイクリング(イメージ)

凡例

国整備

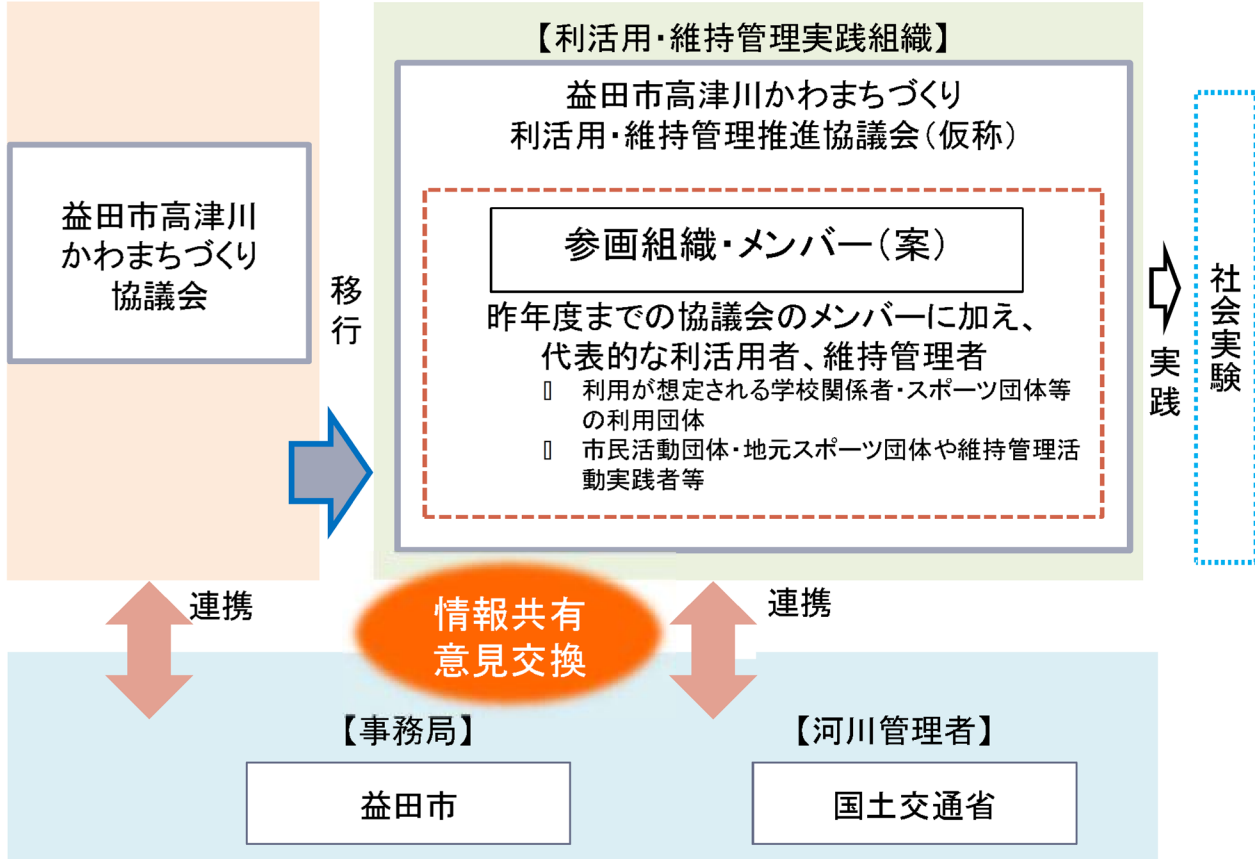
益田市整備

高津川総合環境整備事業

事業期間：令和5年度～令和14年度

4. 益田市高津川かわまちづくり利活用・維持管理推進協議会（仮称）の設置に向けた実施方針（案）

利活用・維持管理推進協議会のメンバーは、以下のような議論や情報共有等を実施することを念頭に置いて構成し、メンバーを選定する。



今後の予定（案）

- ・メンバー：利活用プログラムの実施主体、高津川をフィールドとする活動団体、漁協、JA、企業等より選出（予定）
- ・令和4年度は、利活用協議会の立ち上げの調整を行う。

議題（案）	備考
・推進協議会の目的、趣旨説明、意見交換 ・利活用、維持管理に関する取組方針、役割分担についての意見交換 ・次年度以降の方針、今後のスケジュール等について	

- ・社会実験として、「カヤックイベント」、「水辺で乾杯」、「マルシェの催し」を開催
- ・益田市高津川かわまちづくり計画の周知強化を行う（各機関HPへの掲載、チラシ作成・配布）

益田市高津川かわまちづくりの概要

【基本理念】清流・高津川の豊かな自然、流域の歴史・文化をつなぐ、にぎわいのあるかわまちづくり

自転車による健康増進



拠点における賑わい創出

沿川の既存資源の活用、連携により、高津川沿川の活性化を目指す

- 市民や来訪者に親しまれる河川利用拠点及びネットワークの創出
- 高津川が地域住民にとって利活用しやすい環境
- 高津川流域のにぎわいの創出

【やぶさめ公園付近】

益田市の歴史や文化に触れる空間

・高津川の「玄関口」として、周辺の観光施設と川の周遊やイベントなどでにぎわう環境



- ・幹線道路、JR益田駅近く
- ・近傍観光地、イベント（万葉公園、高津柿本神社、八朔祭や河川敷の流鏝馬）
- ・土木遺産、良好景観の橋
- ・ひとまる大橋開通による交通アクセス向上の見込み

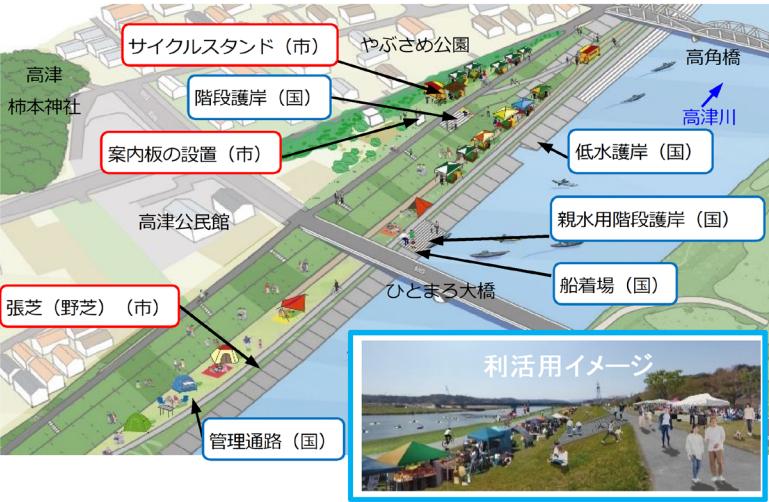
◆地域ニーズ

- ・高水敷を活用したサイクリングロード
- ・憩いの場、カヌー、カヤックなどの親水活動の場
- ・川への導線整備やPRによる利用増加の期待

◆課題

- ・広い高水敷を活かしたイベント実施が困難（高水敷が未整備で草木が繁茂、階段が小さいなど）
- ・水辺に安全に近づきにくい（階段護岸が未整備、管理用通路の未舗装、草木繁茂など）

必要な場の機能	整備メニュー	利活用等
来訪者の多い拠点から川への誘導	案内板の設置 階段拡幅	・来訪者誘導、場所、歴史紹介 ・後背地から川側の導線
高水敷を活用したイベント	張芝（野芝）	・マルシェ等のイベント ・多目的広場（憩いの空間） ・休憩、親水活動 バーベキュー、水遊び、カヌー、カヤック
水辺での憩い	親水用階段護岸 低水護岸 サイクルスタンド 船着場	
安全・快適な通行ルート	管理通路（高水敷）	・サイクリングコース、ジョギング・ウォーキングコース



- 公共施設等
- ▲ 観光地・イベント
- 神社
- 公園
- 益田市サイクリストサポート企業
- 新規サイクリングコース案

サイクリングロードの改良

高津川及びまちを安全にめぐるルート

・幹線道路との交差点にアンダーパスを設け、安全快適に、高津川沿川を周遊

- ・市民や来訪者が益田市の景観と文化を安全かつ気軽に楽しむサイクリングコース整備を検討中
- ・高津川沿いのサイクリングやカヤック体験、サイクリングイベントの開催

◆地域ニーズ

- ・河川管理道を活用したサイクリングルート整備
- ・安全な通行のための自転車専用道やアンダーパス
- ・高水敷活用ルート（下流）

◆課題

- ・イベント時以外のサイクリスト来訪、日常的なサイクリング利用促進の仕組みづくり



必要な場の機能	整備メニュー	利活用等
サイクリングルート（高津川河川管理道の活用） 自転車の安全な通行ルート	坂路（アンダーパス）の整備 管理用通路（サイクリングロード）の整備	・サイクリング ・地域住民の日常利用 散策、ランニング、ウォーキング

サイクリングロード

新規サイクリングコース案

【豊田公民館付近】

地域住民やサイクリストが高津川の自然にふれ憩う空間

・豊かな環境の中で、くつろぎ、自然を体験する環境



- ・高津川と匹見川の合流点
- ・地域住民による自然環境を活かしたイベントの継続的開催
- ・川文化の体験活動や交流イベントを通じた次世代への継承取組
- ・広域サイクリングルートの分岐点

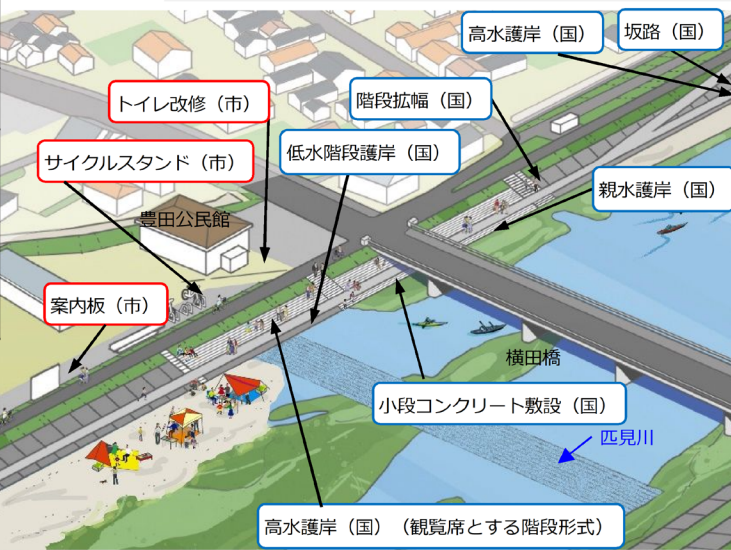
◆地域ニーズ

- ・既活動（地域交流、自然学習）の安全性・利便性向上
- ・トイレ、・水辺へ降りる階段坂路
- ・小さな子どもも安心して遊べる場、憩いの場

◆課題

- ・親水性や利便性の向上（便利施設や水辺アクセス確保（草木繁茂）、案内板老朽化

必要な場の機能	整備メニュー	利活用等
快適なオープンスペースの提供	案内板 サイクルスタンド トイレ改修	・地域住民の憩いの場 ・サイクリングの休憩 ・活動時や、来訪者の使用
安全に水辺に近づける環境	高水階段護岸（観覧席兼） 高水階段護岸 低水階段護岸 小段コンクリート敷設階段拡幅、 高水護岸 低水護岸 坂路	・水辺へのアクセス（活動時や、来訪者） ・環境学習、親水活動（川流れ、釣り教室） ・レンタルカヌー



※現時点のものであり、今後変更になる可能性があります。